

令和2年度 事後評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	都市計画道路 茨木箕面丘陵線（岩阪橋梁）整備事業
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）
事業箇所	茨木市大字栗生岩阪地内
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】 本路線は、新名神高速道路茨木千提寺 IC へのアクセス道路であり、北大阪地域の幹線ネットワークを形成するとともに、国際文化公園都市（彩都）の骨格となる都市計画道路である。</p> <p>本事業は、このうち彩都西部地区と中部地区を結ぶ橋梁について、独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）が施行する中部地区のまちづくりにあわせて整備するものである。</p> <p>【事業内容】 事業延長：280m 道路幅員：11.8m 車線数：暫定2車線（完成4車線のうち、西行き部分を暫定整備） 橋梁整備区間 第1橋梁（鋼橋）L=47m、第2橋梁（鋼橋）L=101m 土工整備区間 街路築造工 L=132m</p>
関連事業とその現状	彩都については、西部地区は H16 年、中部地区は本事業の進捗と合わせて H27 年にまちびらきをしている。東部地区は一部の区域でまちびらきがなされており、順次、民間事業者が区画整理事業の認可を取得するなど、事業が進められているところ。
社会経済情勢の変化	彩都東部地区の土地利用は住宅系から産業系に変更となり、それに伴い大阪モノレールの彩都西駅から東センター駅の区間の廃止にあわせて、道路の必要性が高まっている。
事業実施による自然環境の変化	・橋梁整備に伴い、日陰時間が基準値を超えた箇所、稲作補償を実施。
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	事前評価時に「UR による事業推進状況を踏まえ慎重に進められたい」と意見があったため、UR 都市機構の事業着手を確認したうえで、本事業を実施した。

2 事業効果の分析等

	最終評価時点 H20	事後評価時点 R2	変動要因の分析
事業費	約 17 億円 〔国：9.4 億円、府：7.6 億円〕	約 13 億円 〔国：7.2 億円、府：5.8 億円〕	・一部資材の価格下落や用地費精査によるもの
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 5年 ② H21 年度 ③ H22 年度 ④ H25 年度	① 7年 ② H21 年度 ③ H22 年度 ④ H27 年度	・関係者協議に想定以上の期間を要したため
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】 ①移動時間短縮便益 ②走行経費減少便益 ③交通事故減少便益</p> <p>【分析結果】 ・ B/C=1.9 B=54.2 C=28.2</p> <p>【算出方法】 国土交通省「費用便益マニュアル」(平成 15 年 8 月)</p> <p>【受益者】 道路利用者、地域住民</p>	<p>【効果項目】 ①移動時間短縮便益 ②走行経費減少便益 ③交通事故減少便益</p> <p>【分析結果】 ・ B/C=2.1 B=50.1 C=23.6</p> <p>【算出方法】 国土交通省「費用便益マニュアル」(平成 15 年 8 月)</p> <p>【受益者】 道路利用者、地域住民</p>	・事業費の縮減による B/C の増
事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地区に予定されている国際的な自然文化・学術研究の新しい交流拠点の整備を支援 ・中部地区に予定されている周辺環境と調和した大阪を支える産業拠点の形成を支援 ・ライフサイエンスゾーンとしての西部地区と中部地区との連携強化 ・災害発生時における緊急輸送路、避難路の確保 ・ライフライン導入空間の確保 ・国際文化公園都市（彩都）全体への企業誘致促進に寄与 	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における緊急輸送路、避難路の確保 ・ライフライン導入空間の確保 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済を活性化させる研究開発・生産機能等を有する施設の整備や産業拠点の形成を支援 ・国際文化公園都市（彩都）全体への企業誘致促進に寄与 <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な幅員が確保された歩道の整備による快適性向上 	
その他特記事項	—		

3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

評価結果 (事業効果の発現状況等)	彩都西部地区と中部地区を橋梁で結ぶことで、中部地区に物流施設など 9 件が立地し、まちづくりに寄与したと考えられる。 また、茨木箕面丘陵線の残る区間の整備により、新名神高速道路茨木千提寺 IC へのアクセス性が向上し、順次整備が進められている彩都東部地区のまちづくりに寄与するなど、さらに整備効果は高まるものとする。
今後の同種事業に対する改善措置等	—

令和2年度 事後評価(都市計画道路茨木箕面丘陵線(岩阪橋梁)整備事業)

